

# 師走に入りました。2023年も残り1か月

ドカ雪と積雪ゼロを繰り返す極端気象、運転要注意ですね。

# なな なか まど

令和5年12月1日(金)  
第65号  
一般社団法人  
猿 払  
なななかまどの会  
会 報



参加者と講師のみなさん

十一月二十五日に楽遊館で産業課主催の「ベトナム料理教室」の二回目が開催されました。今回は米粉でできた麺をつかった「フォー」を作りました。



ベトナムの「フォー」は、牛肉とネギ、パイン、最後にアツアツのスープをかけて出来上がりです。意外とあっさりして、きし麺のような歯ざわりでした。

講師は産業課に配置されているベトナム出身の「国際交流員」ニユンさんと「ユエンさん」。他に村内で働く実習生が四人お手伝いに来てくれました。

メニューは、ベトナムでは一般的な麺料理で「フォー」。米粉を使った麺でできているので、スープは牛肉を煮込んでとりまです。ゆでた麺にスライスした牛肉とネギ、パイン、好みに合わせてパイン、チリソースをトッピングし、最後にアツアツのスープをかけて出来上がりです。意外とあっさりして、きし麺のような歯ざわりでした。

私には、かつての「ベトナム戦争」のイメージが強く、フォーを食べながら、強



講師とお手伝いの皆さん



てきぱきと段取りのいい受講者の皆さん

# 基礎学力はまず、読み、書き、そろばん(計算)

学力向上シリーズの三回目。今回は「読み書き計算」で基礎学力を鍛えるコーナーです。

先月号で、「小学校の算数は二年生のかけ算が全て」と書きました。これは私がまだ現役の教員のころ教育局の指導主査と基礎学力の話をした時の結論でした。この思いは今も変わっていませんし、そう実践してきました。

子ども達が将来、自分の人生を自分で切り開いていくために必要な力は「基礎学力」(生きる力)です。そしてその基礎学力の根本は「読み、書き、そろばん(計算)」です。

この力は、小学校低学年

で是非身に付けてほしいと思います。

江戸時代の識字率は日本が世界で一番だったそうです。寺子屋では論語を読み、書き、そろばんで計算をすることの繰り返し、ただそれだけで明治維新を乗り越え近代日本の作り上げてきた国民の「基礎学力」がはぐくまれてきました。

現代の学校では、教科書を読んだり板書を写したり、漢字の書き取りをすることが年々減ってきています。五感を使って体内にインプットをすることが、特に低学年で減ってきています。

下校後「読み、書き、計算」が家庭学習のルーティンとなってしまうと高学年になっても安心です。計算は、二年生でかけ算を習ったら、九九を百ます計算で鍛えることです。百問を二分切るとひとまず安心です。一分半を切ると基礎学力は相当高くなります。

低学年のうち五分の学習習慣を身に付けさせると高学年が楽になります。

## 村文化祭作品展終わる

十一月四日・五日農村環境改善センターで令和五年度の「文化祭作品展」が行われ、およそ四百人が来場し、文化祭作家、児童生徒、施設利用者の皆さんが作品を鑑賞していただきました。作品も盛況で、たくさんの方々が制作していただきました。



さるふつの岡の会の皆さんの作品

## 安全運転励行中

高等支援学校を卒業して村内で就職したsさん。この夏、免許取得をサポートしてくれる内地のドライビングスクールで見事自動車免許を取得しました。この十月から通勤で運転しています。いつでも慎重です。周りも応援してください。



## 戦争やめろ

ロシアもハマスもイスラエルも